
独自事業の成果継承（若手）と設立30周年記念事業（女性）

～県老連女性委員会・若手委員会を開催しました～

<若手委員会>

5月17日（水）県立総合福祉センターにおいて、若手委員会を開催、各市町村の若手代表者12名が参加しました。

会議は初めに任期満了に伴う委員長・副委員長の選任について協議を行い、結果以下のとおりとなりました。

委員長 藤村 松男（鳴門市）<留任>

副委員長 片山天四郎（美波町）<〃>

〃 福田 功稔（三好市）



続いて、平成27年度の取り組みに移り、昨年度初めて行い、20名を超える会員外の参加もあるなど、一定の成果をあげた「ニュースポーツ交流・初心者講座」を再度同じ形で行うことで了承が得られ、会員外の方など参加の呼びかけにあたって各委員へ協力をお願いしました。

また、「新地域支援事業」について、事務局から友愛訪問やサロン活動の充実させていくことが大切であると説明したところ、各委員からは友愛訪問について、民生委員も同様の活動を行っており、反発のあるところもあるといった意見やサロン活動について、歩くのが困難な方も多く、輸送手段がかだいであるといった意見が出されました。事務局からは友愛訪問については、各関係機関がお互いの守備範囲の中で連携して欲しい、輸送手段については、老人クラブで対応が難しい場合、他の組織（NPOなどボランティア団体）に相談するなど知恵を出し合って欲しいと説明しました。

<女性委員会>



5月14日（木）県立総合福祉センターにおいて、本年度の県老連女性委員会を開催、各市町村の女性代表者23名が参加しました。

はじめに、本年度の女性リーダー研修会の実施内容の検討に入り、前半は老人クラブにとっても関心を高める必要がある「新地域支援事業」についての学習を、後半は理学療法士の鶯 春夫先生を招いた転倒予防やリハビリをテーマとした講演・実技を行うことになりました（開催時期は11～12月頃）。

続いて、教育図書（株）から県老連に提案のあった歌集の製作（再版）を、平成26

年度に女性委員会が設立30周年を迎えたことの記念事業として行ってはどうかと提案したところ、各委員の賛同が得られ進めていくこととなりました。

その後、任期満了に伴う委員長・副委員長の選任につちえ協議を行い、結果以下のとおりとなりました。

委員長 吉尾さだえ（小松島市）＜留任＞

副委員長 大平恵美子（神山町）

最後に、「新地域支援事業」について、充実強化が望まれる友愛訪問やサロン活動などは、女性が主体となっているところが多く、また女性の行動力を生かして、役員等にも積極的に働きかけてもらえるよう背中を押してほしいと、各委員に協力をお願いしました。